

再編整備を進めるにあたって委員の皆様からいただいた意見や課題

【小中一貫教育】

- ・小学校から中学校へ上がる際の「中一ギャップ」が緩和されることや、小学校でのつまづきを中学校の先生が把握できるなどメリットが多い。
- ・施設一体型や施設併設型の学校に通う子供たちとそうでない子供たちの間に教育の差が生まれるのではないかという危惧があり、諏訪市の各地区の人口動態にも影響が出てくる可能性もあるので、分離型の学校に通う子供たちとの間で教育の差が生まれないようにする方法を並行して検討して欲しい。
- ・小中一貫校にすることにより9年間という長いスパンになる。クラス替えなどがあるにしても、極端な変化が少なく、不登校生徒、児童が増えてしまうような気がする。
- ・中学生になると行動範囲も広くなり、誘惑もあるため反抗する生徒もいるかと思うが、小学生への悪影響が心配。
- ・小中一貫教育となり、中学入学時の不安が減るなど子供にとっても親にとっても精神的な不安が少なくなるのはありがたいが、いじめの問題などのケアが行き届くのか。

【通学区・路】

- ・通学区変更に対する住民の気持ち。（通学区の変更は、地域の人との関係と活動の基盤が変わることになり影響が大きい。）
- ・通学区の見直しは、隣接する学校区にも影響が及ぶ可能性がある。（城南小、湖南小）
- ・通学路の歩道整備は一体型校舎と並行して整備する必要がある。特に県道上社線は歩道がない場所もある。
- ・現在の諏訪南中学校入口は道路幅も狭いため、安全な道路幅、歩道の確保できる場所にして欲しい。
- ・小学一年生が中洲神宮寺や四賀神戸から通学するのは困難であると思われる。キョロブラ活動の会員数を増やし、しっかりとした安全教育部会にする必要がある。
- ・通学距離に関して武津・細久保・普門寺地区の子どもに対して配慮していく必要がある。
- ・通学路の安全確保を検討して欲しい。通学距離が長い地区もあるのでスクールバスの導入も検討して欲しい。

再編整備を進めるにあたって委員の皆様からいただいた意見や課題

【校舎等施設】

- ・運動施設（体育館、グラウンド、プール）の充実化をどう図るのか。1,300人規模の学校に見合った施設の整備ができるのか。（土地の買収は可能か。中洲小の敷地活用は移動時間などの問題がある。）
- ・現在の諏訪南中敷地だけで教育活動に必要な設備がすべて整うのか。（現在も大切にされている畑やカリンを是非残して欲しい。）

【用地】

- ・宅地化されて土地が減少しているため早急に用地買収が必要。
- ・諏訪南中グラウンド内に新校舎を建てると部活や体育の授業に影響が出るため、新規に用地買収して欲しい。
- ・学童を利用される家庭も多く、お迎え時の駐車場スペースを確保できるのか。

【地域】

- ・地域と学校の連携・協働。（地域の宝である子どもを地域みんなで育てる。）地域の先輩方に学ぶ、体験する、協力する活動がこれからは大切。そのためにも学校にも地域の方々との交流スペース、何でも使える多目的室を設置する。

【支援】

- ・相談室の設置。（スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー）生徒数が多い分、悩みを抱える生徒、保護者の数も増える。その人達が入りやすく気軽にいつでもいける場所があると問題も小さいうちに発見、対策ができる。
- ・スクールロイヤー（学校弁護士）制度の導入。近年教師が生徒や家庭問題に時間をかけているのをよく耳にする。生徒のためにも教師の負担を減らすためにも学校と生徒の間に入るスクールロイヤーの役割は大きい。
- ・小学校だけでも900人規模の大規模校になることへの子どもと保護者の不安。
- ・低学年児童への配慮が必要。通学距離の問題、学校に至るまでの危険個所の多さの問題、校内の設備・備品など比較的に体力、知識や経験があり、体格の大きい高学年・中学生の視点で検討チェックが進んでしまうと低学年が置かれてしまう。是非、低学年から見て困ることはないかという視点で検討・設計チェックを行うべきと考える。

【同窓会】

- ・四賀小、中洲小、諏訪南中の同窓会をどういう形態にしていくのかそれぞれの同窓会同志で検討していく必要がある。先進事例など共有して欲しい。

再編整備を進めるにあたって委員の皆様からいただいた意見や課題

【統合】

- ・四賀小学校と中洲小学校の歴史が終わることの影響。
- ・四賀地区に小学校がなくなることにに対する住民の気持ち。

【災害】

- ・災害にも強い（稼働する）学校づくりが必要。（校舎はもちろん地域と連携した防災の取り組み強化する。諏訪南中のものづくり科と同様に防災科も一生役に立つ。）

【PTA】

- ・PTAの組織も大幅に変わると思われるが3校でPTAを統一するのか、今まで通りの通学区別にするのか決める必要がある。統一するなら会議の中身や開催数等、見直しする良い機会ではないかと思う。

【ゆめスクールプラン】

- ・H30年3月に策定したゆめスクールプラン基本構想で示した学校再編計画に沿って事業を推進すること。（将来的に東部、南部、西部地区の3中学校をもとに施設一体型小中一貫教育学校を目指すことは決定されている市の計画である。）
- ・東部地区の構想に関してある程度の時期を示す必要がある。

【その他】

- ・心を育てる、生きる力を育てる学校になることを願う。
- ・推進委員の任期が自身の役職までとなると毎年入れ替わりがあるので、委員が新しくなるたびに推進スピードが落ちないようにして欲しい。
- ・第1回推進委員会で、南部地区は諏訪南中学校の敷地を活用して施設一体型小中一貫校を整備する方針を確認した。これは市としての決定ではないが、推進委員会はこの方針のもと検討を進めていくこと。
- ・子どもと保護者、地域の方の理解を得るためには何をすればよいのか考える。
- ・地域の方には、その時の状況に合わせて計画案を説明、公表する機会を設定して欲しい。
- ・建設期間中の諏訪南中生徒の学習環境は保障されるのか。（校庭に建設の場合、体育や部活動はどうなるのか。騒音や安全管理は。）